

京都文化芸術都市創生計画推進フォーラム・文化ボランティアのつどい

世界的な 文化芸術都市・ 京都の創生

京都市では、文化芸術都市の創生を目指し、
平成19年3月に「京都文化芸術都市創生計画」を策定、
平成24年3月にこれを改定しました。
本年度は、計画の改定を記念し、
その基本理念
「世界的な文化芸術都市・京都の創生」をテーマに、
推進フォーラムを開催いたします。

Art, Culture, and Kyoto

平成25年3月20日（水・祝）

宮川町歌舞練場 京都市東山区宮川筋4丁目

参加費：無料 主催：京都市

京都文化芸術都市創生計画推進フォーラム・文化ボランティアのつどい 世界的な文化芸術都市・京都の創生

2

パネルディスカッション 「世界的な文化芸術都市・京都の創生」

京都は、普段の暮らしの中で、いつも“創作の気配”が感じられるまちです。このような京都の特長を踏まえ、京都市では、文化芸術によって社会全体が活気づく「文化芸術都市」の創生を目指しています。伝統が受け継がれ、新たな文化が創造される都市の在り方について、パネリストの皆さんにお話しいただきます。

パネリスト

- 潮江 宏三（京都市美術館館長）
- 茂山 逸平（大蔵流狂言師）
- 曾和尚靖（能囃子幸流小鼓）

コーディネーター 奥 美里（京都市文化芸術都市推進室長）

1

一調一管「獅子」

小鼓 曾和尚靖（能囃子幸流小鼓）ほか

3

狂言「三番三」

三番三 茂山 逸平（大蔵流狂言師）

〈囃子方〉

小鼓 曾和尚靖（能囃子幸流小鼓）ほか

潮江 宏三

1947年、香川県丸亀市生まれ。京都市美術館館長。美術史学者。1969年、京都大学文学部哲学科卒業。1974年、同大学院博士課程を終え、京都市立芸大助手、講師、助教授、教授を歴任し2007年から2010年まで学長を務める。1998年、大阪大学文学博士。著書に『銅版画師ウィリアム・ブレイク』（1989年、京都書院）等がある。



茂山 逸平

1979年、京都市生まれ。大蔵流狂言師。4歳の時『業平餅』の童にて初舞台。その後『千歳』『花子』等を抜く。スペイン、フランス等の海外公演にも参加する一方で、NHK朝の連続テレビ小説「カーネーション」ほか、映画、舞台、CMに出演。2006年から「HANAGATA」を正邦、宗彦、茂、童司とともに再開、企画製作から出演までを自分たちで行っている。2009年から落語家桂春蝶氏との『春蝶・逸平の一緒に遊びまSHOW!』を開催するなど、ジャンルを問わず伝統芸能の普及を目的に活動。2010年から自身の狂言会『狂言季期』を主催。2006年秋から文化庁新進芸術家海外派遣研修制度にて1年間フランスに留学。著書に『茂山宗彦・茂山逸平と狂言へ行こう』（2001年、旬報社）がある。



曾和尚靖

1973年、京都市生まれ。能囃子幸流小鼓。京都能楽囃子方同明会理事。代々小鼓の名手を輩出する家系に生まれ、6歳から祖父（人間国宝）、父に師事。幼少の頃から“京の尚靖”として期待を受ける。繊細かつ大胆な音色を奏でる非常に感覚派的な小鼓奏者として、高い評価を得ている。1994年から「分かりやすく面白く」をモットーとする能楽若手グループ「心味（こころみ）の会」に参加。1999年にはスペイン・マジョルカ島のポレンサ音楽祭に参加するなど精力的な活動を行い、能楽の普及や芸の向上に努めてきた。近年は「ブチ・鼓堂」と題して、各地でレクチャーを開催し、古典芸能をおしゃれに感じてもらうために、鼓の魅力をアピールする活動も行っている。



日時 平成25年3月20日（水・祝）午後0時30分開場、午後1時開始

場所 宮川町歌舞練場（京都市東山区宮川筋4丁目）
市バス「河原町松原」から徒歩5分、京阪「清水五条駅」から徒歩7分

参加費 無料

申込方法 電話、FAX、WEBのいずれかにて、下記までお申し込みください。
お申込みの際は、郵便番号、住所、氏名、電話番号、参加人数（3名まで）をお伝えください。

京都いつでもコール

TEL 075-661-3755 FAX 075-661-5855 ※かけ間違いに御注意ください。
URL <http://www.city.kyoto.lg.jp/sogo/page/0000012821.html>

申込締切 平成25年2月20日（水）必着

定員 250人 ※応募多数の場合は抽選（申込締切後、当選者のみに参加証をお送りします。）

主催 京都市

